

「地域との協働を通して育まれる、郷土への愛着」



六ツ美中部小学校4年生は、地域の方にお借りした2つの畑に「ツナグ夢畑」「未来畑」と名付け、地域の方と共に種まきや種取りなど菜の花を育てる活動を行った。また、JAの方にご協力いただいた搾油体験を通して、菜の花について探究した。3学期には地域の方を招いて学びの成果を発表し、地域との協働を通して郷土を大切に思う気持ちを育んだ。

(文責：六ツ美中部小学校 丹羽 千恵)

「魚いっぱい安全な青木川にしよう」



本校では、学校前を流れる青木川を題材とした河川学習を進めている。6年生では2つのチームに分かれて探究活動を行った。1つのチームは川の魚がすみやすい環境づくりを目指し、採取した魚を飼育し、水槽で川の環境に近づけるために必要なことを調べながら生態を調べた。もう1つのチームは、地域の方や子どもたちが楽しめる川を目指し、安全に遊ぶ場所の調査や全校へのアンケートを実施し、青木川の魅力や活性化について考えた。今後は、調査したことを地域に発信するために自分たちでできることを考えていきたい。(文責：常磐東小学校 前田 実来)

「地域の社会課題について考え積極的に社会に参画しようとする子ども」



甲山中学校3年生は、地域の人口減少問題について考えた。総代の方や、市役所の方に対して調査活動を行い、学区の人口が半減するという危機的状況から、自分たちにもできることはないかという思いを抱き始めた。そこで、チームで考えた子育て支援の方法などを市役所の方に提案した。これらの活動を通し、地域を支える一人として責任をもち、自信をもった考えのアウトプットする力を育んだ。

(文責：甲山中学校 原田 洋輝)

「特別支援学校との交流を通して育まれる力」



竜南中学校 1 年生は、学区にある 2 つの特別支援学校と交流を行った。自己紹介や出し物の披露を通して、温かい雰囲気の中で親睦を深めた。それぞれ異なる環境で生活し、異なる経験をしているからこそ、互いの価値観を広げるよい機会となった。今回の交流は、「共に生きる」をテーマに、地域社会との共生について体験を通して考えることができた学習となった。（文責：竜南中学校 太田 賢人）

「生物多様性と間伐学習」



額田中学校 1 年生は、地元額田地区の自然について学習している。森林学習会では毎年講師を招き、森林の伐採や間伐の意義について理解を深めている。「森を育てるために木を切る」という考え方を学んだ後、実際に額田の森林で間伐を体験する。こうした活動を通して、地元の林への関心を高めるとともに、その発展と保全について考え、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動できる生徒の育成を目指している。また、その学びを通して、本校の重点努力目標の達成につながる力を育んでいる。

（文責：額田中学校 石川 裕一郎）